

○事業所名	児童デイあつたまある東		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ゲーミングPCを設置し、本格的なeSportsを提供している。 学習支援に力を入れている。	ゲームというツールを通して、仲間との協力や、順番を守って行なうルール遵守、できなかったことにチャレンジして克服する達成感など、楽しみながら社会性・自主性・自立性を育てる支援を行なっている。身体を動かすゲーム等も設置し、狭いスペースでもある程度の運動ができる。	事業所内だけではなく、他事業所とオンラインで繋がっての対戦や、大会への参加など、より大きな使命感を持ち達成感が得られることを計画していきたい。 代表的なゲームソフトだけでなく、肢体不自由児も参加できるプランを考えていきたい。
2	事業所の目の前に大きな公園がある。	ゲームや工作・描画などインドアの活動と、広い公園で思い切り身体を動かす活動と、メリハリのある支援内容を組み立てている。	屋外(公園)で一般的な駆けっこ・鬼ごっこや遊具での遊びに加え、工夫をして身体を動かしながら頭も使って五感全部で体験できるような療育を考えたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアで狭いと感じている。	事業所の開設基準のスペースは満たしているが、比較的年長の児童(身体が大きい)が多くなってきたため、室内が狭く感じる。	現在は公園に出かけて遊ぶ時間を設け、事業所内の人口密度が高くないようにしているが、来年度からは事業所の場所を移り、もっと広いスペースで活動できる予定。
2	すべての児童の学校関係者や、他の療育機関と情報共有ができていない。	できる限り情報共有に努めてはいるが、保護者が送迎したり自立で通所する児童がいるため、学校関係者に会う機会がない。	必要な場合は、学校に働きかけ、定期的に情報交換・共有の時間を設ける。他の療育機関との連携も同様。相談支援専門員を交えて情報共有について検討する。